ライセンス
ONTAP Select

NetApp
November 09, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/ontap-select-9191/concept_lic_evaluation.html on November 09, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

ライセンス . . . 1
- Options . . . 1
  - ONTAP Select 導入の評価ライセンスについて説明します . . . 1
  - 本番ライセンス . . . 2
- ライセンスを購入する . . . 10
  - ONTAP Select のライセンス購入ワークフロー . . . 10
  - 容量階層 . . . 13
  - 容量プール . . . 15
- ONTAP Select による ONTAP 機能のサポート . . . 16
  - デフォルトでライセンスされるONTAP機能 . . . 17
  - 別途ライセンスが必要な ONTAP 機能 . . . 18

ライセンス

Options

ONTAP Select 導入の評価ライセンスについて説明します

ONTAP Selectは、評価ライセンスまたは購入ライセンスで導入できます。選択したライセンスは、ONTAP Selectクラスター内の各ノード、ひいてはクラスター全体に適用する必要があります。購入を決定する前にONTAP Selectを評価する場合は、評価ライセンスを使用できます。評価ライセンスはONTAP Select Deploy管理ユーティリティに含まれており、評価環境での導入の一環として各ONTAP Selectノードに自動的に適用されます。

ONTAP Select Deploy 管理ユーティリティをダウンロードするには、以下のものが必要です：

- 登録済みNetApp Support Siteアカウント。アカウントをお持ちでない場合は、 "ユーザ登録"を参照してください。
- "エンド ユーザ ライセンス契約に同意する"評価版ライセンスを使用したONTAP Select導入の場合。

評価クラスターの導入とサポートを行う際には、いくつかの考慮事項があります：

- このクラスターは評価目的でのみ使用できます。評価ライセンスが設定されたクラスタを本番環境で使用しないでください。
- 各ホストを設定する際は、ONTAP Select Deploy管理ユーティリティを次のように使用する必要があります。
  - シリアル番号は入力しないでください
  - 評価版ライセンスを使用するように設定する

ライセンスの特性

ONTAP Select評価ライセンスには以下の特徴があります：

- ストレージ容量付きの本番環境ライセンスは不要です
- ノードのシリアル番号は20桁で、ONTAP Select Deployによって自動的に生成されます

  （NetAppから直接入手することはできません）
- ライセンスで提供される評価期間は最長90日間です。
- 各ノードに割り当てられる最大ストレージ容量は、本番環境ライセンスと同じです

本番ライセンスにアップグレード

ONTAP Select 評価用クラスタをアップグレードして本番ライセンスを使用できます。次の制限事項に注意してください：

- ライセンスのアップグレードを実行するには、Deploy 管理ユーティリティを使用する必要があります。
- Capacity Tierライセンスは使用できますが、Capacity Poolsライセンスはサポートされていません
- 各ノードには、クラスタサイズに基づいて、本番環境ライセンスに必要な最低限のストレージ容量を確保する必要があります。

詳細については、"評価版ライセンスを本番ライセンスに変換する"を参照してください。

次の手順

- "ONTAP Select 評価ソフトウェアにアクセスします"
- "ONTAP Select クラスタの 90 日間の評価インスタンスをデプロイします"

関連情報

- "本番環境への導入のライセンスについて説明します"

本番ライセンス

本番環境向けの **ONTAP Select** 購入ライセンスについて学習します

ONTAP Selectが組織に適していると判断したら、本番環境への導入に必要なライセンスを購入できます。導入ごとに、容量プールまたは容量階層ライセンス モデルのいずれかとストレージ容量を選択する必要があります。

一般的なライセンス特性

Capacity Pools と *Capacity Tiers* のライセンス モデルは、いくつかの点で大きく異なります。ただし、これら 2 つのライセンス モデルには、次のような共通の特性があります：

- 本番環境にONTAP Selectを導入する場合は、必要に応じて1つ以上のライセンスを購入する必要があります。
- ライセンスのストレージ容量は、1 TB単位で割り当てられます。
- すべてのプラットフォーム ライセンス オファリング（standard、premium、premium XL）がサポートされています。
- 必要なライセンスを取得する際には、必要に応じてNetAppアカウントチームまたはパートナーにサポートを依頼してください。
- ライセンスファイルをDeploy管理ユーティリティにアップロードする必要があります。その後、ライセンス モデルに基づいてライセンスが適用されます。
- ライセンスをインストールして適用した後、NetAppアカウントチームまたはパートナーに連絡して更新されたライセンスを入手することで、容量を追加できます。
- 購入済みのライセンスで最初にデプロイされたONTAP Selectノードは、評価版ライセンスに変換することはできません。

容量階層ライセンス モデル

Capacity Tiersライセンス モデルには、次のような固有の特性がいくつかあります：

- ONTAP Select ノードごとにライセンスを購入する必要があります。

- 購入できる最小容量は1TBです。
- 各容量ティアライセンスにはストレージ容量が割り当てられており、特定のノードに紐付けられています。
- ストレージ容量は生データ容量を示し、ONTAP Select仮想マシンで使用可能なデータディスクの合計許容サイズに対応します。
- NetAppは、各ONTAP Selectノードに対して9桁のライセンス シリアル番号を生成します。
- ノードに割り当てられたストレージは永続的（更新は不要）ですが、ライセンスに関連付けられたサポート契約は更新する必要があります。
- 高可用性（HA）ペアの各ONTAP Selectノードには、ノードに接続されている物理ストレージと同じ大きさ以上のライセンスが必要です。
- ノードのシリアル番号は9桁で、ライセンスのシリアル番号と同じです。
- ライセンスファイルは、クラスターのデプロイ時、またはクラスター作成後30日以内に適用できます。

Capacity Poolsライセンス モデル

キャパシティプールライセンス モデルに固有の特性がいくつかあります：

- 共有容量プールごとにライセンスを購入する必要があります。
- 購入できる最小容量は2TBです。
- 各容量プール ライセンスにはストレージ容量があり、Deploy 管理ユーティリティ内の特定の License Manager インスタンスにロックされています。
- ストレージ容量は物理ストレージ容量を示し、ONTAP Select 仮想マシンで作成できるデータ アグリゲートの合計許容サイズに対応します。
- 9桁のライセンスシリアル番号は、各キャパシティプールについてNetAppによって生成されます。
- 容量プールに割り当てられたストレージは、購入に基づいて特定の期間のみ有効です（更新が必要です）。
- License Manager は、Capacity Pool ライセンス シリアル番号に基づいて 20 桁のノード シリアル番号を生成します。
- クラスタ内のすべてのONTAP Selectノードは、同じライセンス容量を共有します。つまり、ライセンスは、クラスタ内のすべてのノードに割り当てられたストレージを提供するのに十分な大きさである必要があります。
- 各ノードは、共有容量プールからローカルデータアグリゲート用のストレージ容量を自動的にリースします。

ONTAP Select のプラットフォームライセンスの提供

ONTAP Select 容量ティアまたは容量プールライセンスは、標準、プレミアム、またはプレミアム XL レベルで購入できます。これらのライセンス オファリングによって、ONTAP Select をデプロイするホストの機能が決まります。

プラットフォーム ライセンスの提供内容

特定のライセンスの提供内容によって、ハイパーバイザー ホストの機能が次の 2 つの領域で決まります：

- インスタンス タイプ（CPU、メモリ）
- その他の機能

ライセンスの種類は、標準版からプレミアム版XLまで、機能の面で昇順に並んでいます。一般的に、選択したライセンスオプションによって、そのレベルとそれより下位のすべてのレベルの機能が利用可能になります。例えば、プレミアムレベルでは、プレミアムと標準版の両方の機能を提供します。

以下の表は、標準ライセンス、プレミアムライセンス、およびプレミアム XL ライセンスの機能を比較したものです。

ライセンスは以下をサポートします…		**Standard**	**Premium**	プレミアム**XL**
インスタンス タイプ		小規模のみ	小型または中型	小、中、大
ハードディスク ドライブ（HDD）は…	ハードウェアRAID構成	はい	はい	はい
	vNAS 構成	はい	はい	はい
ソリッドステートドライブ（SSD）を	ハードウェアRAID構成	×	はい	はい
	ソフトウェアRAID構成	×	はい	はい
	vNAS 構成	はい	はい	はい
NVMe ドライブは…	ハードウェアRAID構成	×	×	はい
	ソフトウェアRAID構成	×	×	はい
	vNAS 構成	はい	はい	はい
MetroCluster SDS		×	はい	はい

カーネルベース仮想マシン（KVM）は、大規模インスタンス タイプをサポートしていません。

プラットフォーム ライセンス製品のハードウェア サポートを比較

標準、プレミアム、プレミアム XL ライセンス オファリングは、幅広いハードウェアとソフトウェアをサポートします。ハードウェアとソフトウェアのバージョンに関する最新情報については、"Interoperability Matrix Tool"を参照してください。

コア項目

コアアイテムタイプ	説明
ホストプロトコル	NFS、SMB/CIFS、iSCSI、およびTCP経由のNVMe
導入オプション	シングルノード 2ノードクラスタ（HAペア） 4、6、8、10、または12ノードクラスタ
サポートされる容量（ノードあたり）	最大400TBの生データ（ESXiおよびKVM）

ハードウェア

ハードウェアタイプ	説明		
インスタンスのサイズ	小規模	中	大規模
CPUファミリー	Intel Xeon E5-26xx v3（Haswell）以降 AMD EPYC Embedded 9004以降および8004	Intel Xeon E5-26xx v3（Haswell）以降 AMD EPYC Embedded 9004以降および8004	Intel Xeon E5-26xx v3（Haswell）以降 AMD EPYC Embedded 9004以降および8004
ONTAP Select CPU / メモリ	仮想CPU（vCPU）4基 / RAM 16GB	8個の仮想CPU / 64GBのRAM	16個の仮想CPU / 128GBのRAM
ホストCPU/メモリの最小要件[1]	6コア / 24GBのRAM	10コア / 72GBのRAM	18コア / 136GBのRAM
ネットワーク（ノードあたり）	単一ノードクラスタの場合は最低2つの1GbEポート 2ノードクラスタ（HAペア）の場合は最低4つの1GbEポート 4、6、8、10、または12ノードクラスタの場合は最低2つの10GbEポート		

[1] ハイパーバイザーに2つのコアと8GBのRAMを想定しています。

ストレージ タイプ

以下の表は、指定されたストレージに必要な最小限のライセンスの種類を示しています。

ストレージ タイプ	説明		
ライセンス タイプ	Standard	Premium	プレミアムXL
インスタンスのサイズ	小規模	小型および中型	小、中、大
ハードウェアRAIDコントローラを備えたローカルDAS	8～60ドライブ	8～60ドライブ	8～60ドライブ
HDD（SAS、NL-SAS、SATA）	該当なし	4～60ドライブ	4～60ドライブ
SSD（SAS）	該当なし	4～60台のドライブ（SSDのみ）	4～60台のドライブ（SSDのみ）
ソフトウェアRAID搭載のローカルDAS	該当なし	該当する	4～14台のドライブ（NVMeのみ）
外部アレイ[1]	外部アレイ上にホストされているデータストアは、FC、FCoE、iSCSI、およびNFSを介して接続されます（NFSはKVMではサポートされていません）。これらのデータストアは、高い可用性と耐障害性を提供します。		

[1] 外部アレイプロトコルのサポートは、ネットワークストレージ接続を反映しています。

ソフトウェア

ソフトウェアの種類	説明

ハイパーバイザーのサポート（VMware）	VMware vSphere 9.0 VMware vSphere 8.0GA およびアップデート 1 ～ 3 VMware vSphere 7.0GA およびアップデート 1 ～ 3C	
ハイパーバイザーのサポート（KVM）	Red Hat Enterprise Linux 64-bit （KVM） 10.1、10.0、9.7、9.6、9.5、9.4、9.3、9.2、9.1、9.0、8.8、8.7、および8.6 Rocky Linux (KVM) 10.1、10.0、9.7、9.6、9.5、9.4、9.3、9.2、9.1、9.0、8.9、8.8、8.7、および8.6	管理ソフトウェア

次の手順

"ONTAP Selectライセンスの購入"について学ぶ

Capacity Poolsライセンス モデル

ONTAP Select Capacity Poolsライセンス モデルの運用の詳細

Capacity Poolsライセンス モデルは、Capacity Tiersモデルとは異なります。各ノードに個別のストレージ容量を割り当てるのではなく、ストレージ容量はプールに割り当てられ、複数のノード間で共有されます。Capacity Poolsモデルをサポートするために、追加のコンポーネントとプロセスが作成されました。

ライセンス マネージャ

ライセンス マネージャは、Deploy 管理ユーティリティの各インスタンス内で独立したプロセスとして実行されます。LM が提供する機能には以下のようなものがあります：

- 容量プールライセンスのシリアル番号に基づいて、各ノードに固有の20桁のシリアル番号を生成します
- ONTAP Select ノードからのリクエストに基づいて、共有容量プールから容量のリースを作成します
- Deploy ユーザー インターフェイスを通じてプール使用状況情報をレポートします

リース契約の特徴

容量プールライセンスを使用するノードのすべてのデータ アグリゲートに割り当てられたストレージには、関連付けられたリースが必要です。ノードがストレージのリースを要求し、容量が利用可能な場合、ライセンス マネージャはリースで応答します。各リースには、次の明示的または暗黙的な属性があります：

- ライセンス マネージャ

  すべてのONTAP Selectノードは1つのLicense Managerインスタンスに関連付けられています

- Capacity Pool

  すべての ONTAP Select ノードは 1 つのキャパシティ プールに関連付けられています

- ストレージ割り当て

  リースでは特定の容量値が割り当てられます

- 有効期限日時

  リースの期間は、ユーザー設定に応じて 1 時間から 7 日間になります。

ライセンス ロック **ID**

License Managerの各インスタンス、および対応する各Deployユーティリティ インスタンスは、一意の128-bitの番号で識別されます。この番号は、9桁のCapacity Poolライセンス シリアル番号と組み合わされ、プールを特定のLicense Managerインスタンス（実質的にはDeployインスタンス）にロックします。NetApp License File（NLF）を生成する手順の一環として、NetApp Support Siteで両方の値を提供する必要があります。

Deploy インスタンスのライセンス ロック ID は、Web ユーザ インターフェイスを使用して次の方法で確認できます。

- スタートガイド ページ

  Deploy に初めてサインインすると、このページが表示されます。ページ右上のドロップダウンボックスを開き、**Getting Started** を選択してこのページを表示することもできます。LLID は「ライセンスの追加」セクションに表示されます。

- ページ上部の*管理*タブを選択し、*システムとAutoSupport*を選択します。

基本的なリース操作

ONTAP Selectノードは、データ アグリゲートが作成、拡張、または変更されるたびに、有効な容量リースを検索または要求する必要があります。以前の要求で取得した有効なリースを使用することも、必要に応じて新しいリースを要求することもできます。ONTAP Selectノードは、容量プールリースを検索するために、以下の手順を実行します：

1. ノードに既存のリースが存在する場合、以下のすべての条件が満たされている限り、そのリースが使用されます：
   - リースの有効期限が切れていません
   - アグリゲートのストレージ要求がリース容量を超えていない
2. 既存のリースが見つからない場合、ノードはライセンス マネージャに新しいリースを要求します。

ストレージ容量を容量プールに戻す

ストレージ容量は必要に応じて容量プールから割り当てられ、新しいリクエストが発生するたびに、プール内の利用可能なストレージ容量が減少する可能性があります。ストレージ容量は、以下のようないくつかの状況でプールに戻されます：

- データ アグリゲートのリースの有効期限が切れ、ノードによって更新されない

- データ アグリゲートが削除されました

ONTAP Select仮想マシンが削除された場合、アクティブなリースは期限が切れるまで有効なままです。この場合、容量はプールに戻されます。

ONTAP Select Capacity Pools ライセンス モデルのノードのシリアル番号

容量階層ライセンス モデルでは、9桁のノードシリアル番号は、ノードに割り当てられたライセンスシリアル番号と同じです。ただし、容量プールライセンス モデルを使用するノードに割り当てられたシリアル番号は異なる形式になっています。

Capacity Pools ライセンスを使用するノードのシリアル番号の形式は次のとおりです：

```
999 pppppppppp nnnnnnnn
```

スペースは分かりやすくするために追加されていますが、実際のシリアル番号の一部ではありません。

次の表では、ノード シリアル番号の各セクションを左から右に説明します。

セクション	説明
「999」	NetAppによって予約されている3桁の固定値。
pppppppppp	NetAppによって容量プールに割り当てられた可変の9桁のライセンスシリアル番号
nnnnnnnn	容量プールを使用する各ノードに対して License Manager によって生成される可変 8 桁値

NetApp サポートに容量プールライセンスを使用するノードに関するケースを開く場合は、9桁の容量プールライセンスのシリアル番号を提供する必要があります。20桁のノード シリアル番号全体を提供することはできません。ノード シリアル番号の最初の3桁（「999」）をスキップし、次の9桁（pppppppppp）を抽出することで、ノード シリアル番号からライセンス シリアル番号を導き出すことができます。

ONTAP Select Capacity Pools ライセンスの導入制限

キャパシティプールライセンス モデルを使用する際に適用される制限事項を以下に示します。

クラスタごとに一貫したライセンス モデル

単一の ONTAP Select クラスタ内のすべてのノードは、容量階層または容量プールのいずれかの同じライセンス モデルを使用する必要があります。単一のクラスタ内のノードに対して、異なるライセンスタイプを混在させることはできません。

クラスター内のすべてのノードは同じ**License Manager**インスタンスを使用します

ONTAP SelectクラスタのCapacity Poolライセンスを使用するすべてのノードで、同じLicense Managerインスタンスを使用する必要があります。各Deployインスタンス内にLicense Managerインスタンスが1つあるため、この制限は、同じDeployインスタンスでクラスタ内のすべてのノードを管理する必要があるという既存の要件を言い換えたものです。

ノードごとに **1** つの容量プール

各ノードは、1つの容量プールからのみストレージをリースできます。ノードは2つ以上のプールを使用することはできません。

HA ペア内のノードに同じプールを使用

単一のHAペアを構成する両方のノードは、同じ容量プールからストレージをリースする必要があります。ただし、同じクラスター内の異なるHAペアは、同じライセンスマネージャーによって管理される異なるプールからストレージをリースすることができます。

ストレージ ライセンスの有効期間

NetAppからストレージライセンスを取得する際には、ライセンス期間を選択する必要があります。たとえば、ライセンスの有効期間は1年間です。

データ アグリゲート リース期間

ONTAP Selectノードがデータ アグリゲートのストレージリースを要求すると、License Manager は、Capacity Poolの構成に基づいて、特定の期間のリースを提供します。各プールのリース期間は、1時間から7日間の間で設定できます。デフォルトのリース期間は24時間です。

Deployに割り当てられた静的**IP**アドレス

Capacity Pools ライセンスを使用する場合は、Deploy 管理ユーティリティに静的 IP アドレスを割り当てる必要があります。

ONTAP Selectキャパシティプールライセンスの特典の概要

Capacity Tiers ライセンス モデルの代わりに Capacity Pools ライセンス モデルを使用すると、いくつかの利点があります。

ストレージ容量のより効率的な利用

容量階層ライセンスを使用する場合、各ノードに固定のストレージ容量を割り当てます。未使用のスペースは他のノードと共有できないため、事実上無駄になります。Capacity Poolsライセンスでは、各ノードはデータアグリゲートのサイズに基づいて、必要な容量のみを消費します。

容量は中央プールに固定され、組織内の多数のノード間で共有できます。

管理オーバーヘッドが大幅に削減され、コストが削減される

容量階層ライセンスを使用する場合は、ノードごとにライセンスを取得してインストールする必要があります。キャパシティプールを使用する場合、共有プールごとに1つのライセンスが必要です。これにより、管理上のオーバーヘッドを大幅に削減でき、結果としてコスト削減につながります。

使用状況指標の改善

Deploy Web ユーザインターフェイスは、 Capacity Pool の使用状況に関する詳細な情報を提供します。Capacity Pool で使用されているストレージ容量と利用可能なストレージ容量、どのノードがプールからストレージを使用しているか、クラスタがどのプールから容量を割り当てているかを迅速に把握できます。

ONTAP Select容量階層と容量プールのライセンス比較

以下の表は、ONTAP Selectでサポートされている2つのプロダクションライセンスモデ

ルを比較したものです。

	容量階層	容量プール
ライセンスのシリアル番号	NetApp は9桁の数字を生成し、ノードに割り当てる	NetAppは9桁の数字を生成し、それを容量プールに割り当てます
ライセンスロック	ONTAP Selectノードにロック済み	License Managerインスタンスにロックされています
ライセンス期間	永久（更新不要）	購入に基づく固定期間（更新が必要）
データ アグリゲートのリース期間	該当なし	1時間から7日間
ノードのシリアル番号	9桁の数字で、ライセンスのシリアル番号と同じです。	20桁の数字でライセンスマネージャーによって生成されます
サポート	アドオンおよび期間限定	含まれており、同一期間
ライセンス タイプ	Standard、Premium、Premium XL	Standard、Premium、Premium XL
評価ライセンスが利用可能です	はい	はい
評価版から本番環境へのアップグレード	はい	×
ONTAP Select仮想マシンのサイズ変更（小→中、中→大）	はい	はい
適用：ライセンスの有効期限切れ	該当なし	はい（猶予期間なし）
最小ライセンス	1 TB	2 TB
最大管理スペース	ノードあたり400TB	ノードあたり400TB

ライセンスを購入する

ONTAP Select のライセンス購入ワークフロー

以下のワークフローは、ONTAP Select環境のライセンスを購入して適用するプロセスを示しています。ライセンスを購入する際は、ライセンス モデルとストレージ容量を選択する必要があります。

具体的な手順は、Capacity Tierライセンスを使用しているか、Capacity Poolライセンスを使用しているかによって異なります。

9桁のライセンスシリアル番号

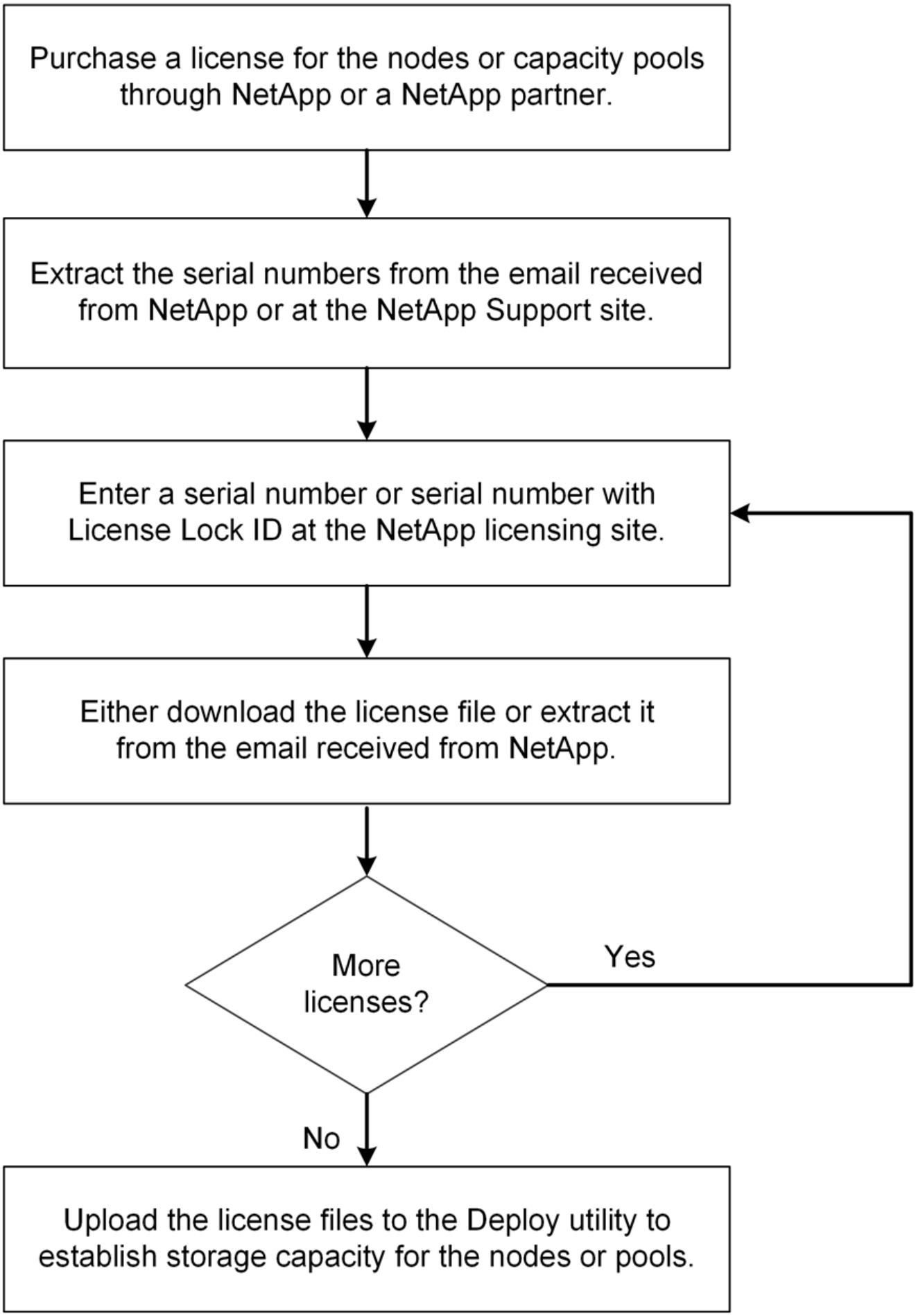
シリアル番号は、ノード（Capacity Tiers）またはストレージプール（Capacity Pools）のいずれかに適用されます。

ライセンス ロック **ID**

Capacity Poolライセンスを使用する場合は、Deployインスタンスのライセンスロック IDが必要です。

ライセンス **Web** サイト

キャパシティティアライセンスとキャパシティプールライセンスは、それぞれ異なる Web サイトで取得します。


Purchase a license for the nodes or capacity pools through NetApp or a NetApp partner.
Extract the serial numbers from the email received from NetApp or at the NetApp Support site.
Enter a serial number or serial number with License Lock ID at the NetApp licensing site.
Either download the license file or extract it from the email received from NetApp.
More licenses?
Yes
No
Upload the license files to the Deploy utility to establish storage capacity for the nodes or pools.

次の手順

ONTAP Selectライセンスのサイズ設定に関する考慮事項について説明します。

- "Capacity Tiers ライセンス"
- "Capacity Pools ライセンス"

関連情報

"ONTAP Selectライセンスの管理について学ぶ"

容量階層

ONTAP Select の容量ティアライセンスサイズの決定

Capacity Tiersライセンスは、各ONTAP Selectノードによって管理される基盤となるディスク容量に基づいており、ノード、HAペア、またはクラスタの使用可能容量に基づいていません。各Capacity Tiersライセンスは、指定された容量の個々のノードシリアル番号に割り当てられ、付随するサポート契約が必要です。

容量ティアライセンスのライセンス容量は、1 TB単位で、最小容量は1 TBです。ライセンス容量は、使用可能なスペースの量にオーバーヘッド係数を掛けることで計算します。オーバーヘッド係数は、使用可能なスペースから取得されるONTAP Selectソフトウェアのオーバーヘッド容量を推定するものであり、NVMe、SSD、HDD、または仮想ドライブに対するONTAP Selectの容量の決定に適用されます。オーバーヘッド係数は、シングルノードクラスタとマルチノード（HAペアベース）クラスタで異なります。

- シングルノード クラスタのオーバーヘッド係数は1.13です
- マルチノード クラスタのオーバーヘッド係数は2.67です

導入に必要な容量を確保するためには、使用可能なスペースに基づいてライセンス容量を計算する必要があります。例えば、HAペア用に10 TBの使用可能容量（ノードあたり5 TB）が必要な場合：

- HAペアでは、冗長性を確保するためにデータが両方のノード間で複製されます。そのため、HAペアで10 TBの利用可能なデータを使用する場合、いずれかのノードがオフラインになった場合に備えて、ノードごとに10 TBの容量が必要になります。
- 2.67 という係数は各ノードの容量を 2 倍にし、ONTAP Select が機能するために必要なオーバーヘッド容量 （0.67） を追加します。
- ノードあたりのライセンス容量は14TB（5×2.67＝13.35）です。HA構成の場合、10TBの使用可能容量を確保するには、14TBのライセンスが2つ必要です。

説明	シングル ノード	**HA**ペア
使用可能スペース	10 TB	ノードあたり5 TB、HAペアの場合は10 TB
ライセンス スペース	12 TB（10 x 1.13 = 11.3、次の完全な TB に切り上げ）	14 TBライセンス2つ（5 x 2.67 = 13.35、次の完全なTBに切り上げ）

説明	シングル ノード	**HA**ペア
ノードあたりの最大使用可能容量 注：ノードまたはHAペアあたりの最大管理容量は400 TBです	353 TB（400／1.13）	HAペアのノードごとに： • 149 TB（400／2.67） マルチノード クラスタ内の HA ペアごと： • 2ノード：298 TB（2 x 149） • 4ノード：596 TB（4 x 149） • 6ノード：894 TB（6 x 149） • 8ノード：1,192 TB（8 x 149） • 10ノード構成：1,490 TB（10 x 149） • 12ノード：1,788 TB（12 x 149）

次の手順

"ONTAP Select の容量階層ライセンスを取得する"

ONTAP Select容量ティアライセンスを取得する

容量階層ライセンスを使用する場合は、ONTAP Selectノードごとにライセンスファイルを取得する必要があります。ライセンスファイルはノードのストレージ容量を定義し、NetAppによって割り当てられた固有の9桁のシリアル番号によってノードにロックされます。

開始する前に

- NetAppによってONTAP Selectノードに割り当てられた9桁のライセンス シリアル番号が必要です。
- ライセンス ファイルを取得する前に、注文書の発送日から少なくとも 24 時間待つ必要があります。
- "容量階層ライセンスのサイジングに関する考慮事項"をレビューしました。

タスク概要

Capacity Tiers ライセンスを必要とする ONTAP Select ノードごとにこのタスクを実行する必要があります。

手順

1. "ONTAP Selectライセンスサイトにアクセスする"。
2. NetAppアカウントのクレデンシャルを使用してサインインします。
3. **License Generator** ページで、ドロップダウンボックスから希望するライセンス製品を選択します。
4. 製品シリアル番号*を含む、*ライセンス ジェネレーター ページの残りのフィールドに入力します。

   「製品シリアル番号」は、ONTAP Selectノードのシリアル番号です。

5. **Submit** を選択します。
6. リクエストが検証されたら、ライセンスの配信方法を選択します。

*ライセンスのダウンロード*または*ライセンスのメール送信*のいずれかを選択できます。

7. 選択した配信方法に基づいてライセンスファイルを受信したことを確認します。

終了後の操作

ライセンスファイルを ONTAP Select ノードに適用する前に、 Deploy 管理ユーティリティにアップロードする必要があります。

容量プール

ONTAP Select の容量プールライセンスサイズの決定

容量プールライセンスの認可容量は、テラバイト単位（TB）で、最小容量は2 TBです。ライセンス容量は、使用可能なスペースの量にオーバーヘッド係数を掛けることで計算します。オーバーヘッド係数は、使用可能なスペースから取得されるONTAP Selectソフトウェアのオーバーヘッド容量を推定するものであり、NVMe、SSD、HDD、または仮想ドライブに対するONTAP Selectの容量の決定に適用されます。オーバーヘッド係数は、シングルノードクラスタとマルチノード（HAペアベース）クラスタで異なります。

- シングルノード クラスタのオーバーヘッド係数は1.13です
- マルチノード クラスタのオーバーヘッド係数は2.67です

導入に必要な容量を確保するためには、使用可能なスペースに基づいてライセンス容量を計算する必要があります。例えば、HAペア用に20 TBの使用可能容量（ノードあたり10 TB）が必要な場合：

- HAペアでは、冗長性を確保するためにデータが両方のノード間で複製されます。そのため、HAペアで20 TBの利用可能なデータを使用する場合、いずれかのノードがオフラインになった場合に備えて、ノードごとに20 TBの容量が必要になります。
- 2.67 という係数は各ノードの容量を 2 倍にし、ONTAP Select が機能するために必要なオーバーヘッド容量 （0.67） を追加します。
- ノードあたりのライセンス容量は27TB（10×2.67＝26.7）です。HA構成の場合、20TBの使用可能容量を確保するには、27TBのライセンスが2つ必要です。

説明	シングルノード	**HA**ペアまたは**HA**ペアと単一ノードの混合
使用可能スペース	20 TB	シングルノード クラスタあたり10TB、HAペアの場合は20TB
ライセンス スペース	23 TB（20 x 1.13 = 22.6、次の完全な TB に切り上げ）	54 TB（20 x 2.67 = 53.4、次の完全な TB に切り上げ）
ノードあたりの最大使用可能容量 注：ノードまたはHAペアあたりの最大管理容量は400 TBです	353 TB（400／1.13）	クラスター内の単一ノードあたり： 149 TB（400／2.67） クラスター内の HA ペアごとに： 298 TB（2 x 149）

次の手順

"ONTAP Select の Capacity Pools ライセンスを取得する"

ONTAP Selectキャパシティプールライセンスを取得する

ONTAP Selectノードで使用する容量プールごとに、ライセンスファイルを取得する必要があります。ライセンスファイルには、プールのストレージ容量と有効期限が定義されています。NetAppによって割り当てられた一意のライセンスシリアル番号と、Deployインスタンスに関連付けられたライセンスロックIDの組み合わせによって、License Managerにロックされます。

開始する前に

- NetAppによって容量プールに割り当てられた 9 桁のライセンス シリアル番号が必要です。
- ライセンス ファイルを取得する前に、注文書の発送日から少なくとも 24 時間待つ必要があります。
- "Capacity Poolsライセンスのサイズ設定に関する考慮事項"をレビューしました。

タスク概要

このタスクは、ONTAP Selectノードで使用されている各容量プールに対して実行する必要があります。

手順

1. "NetApp サポート サイト"にログインします。
2. **Systems** > **Software Licenses** を選択します。
3. 容量プールのライセンス シリアル番号を入力し、**Go!** を選択します。
4. ライセンス詳細ページで、*製品詳細*列に移動してください。
5. 適切な行で **NetApp** ライセンス ファイルの取得 を選択します。
6. ONTAP Select Deploy インスタンスのライセンス ロック ID を入力し、送信 を選択します。
7. 適切な配信方法を選択し、* Submit * を選択します。
8. 配信確認ウィンドウで **OK** を選択します。

終了後の操作

ONTAP Select ノードが容量プールを使用する前に、ライセンス ファイルを Deploy 管理ユーティリティにアップロードする必要があります。

ONTAP Select による ONTAP 機能のサポート

ONTAP Selectは、ほとんどのONTAP機能をサポートしています。クラスタを導入すると、多くのONTAP機能のライセンスが各ノードに対して自動的に付与されます。ただし、一部の機能には別途ライセンスが必要です。

ハードウェア固有の依存関係を持つONTAP機能は、一般的にONTAP Selectではサポートされていません。

デフォルトでライセンスされるONTAP機能

次のONTAP機能はONTAP Selectでサポートされており、デフォルトでライセンスが付与されます：

- 自律型ランサムウェア対策（ARP）（手動更新）
- CIFS
- 重複排除と圧縮
- Key Management Interoperability Protocol（KMIP）を使用した外部キー管理

  "外部キー管理の有効化と設定"について学ぶ。

- FlexCache

  ONTAP Selectは、ライトバック機能付きのFlexCacheキャッシュボリュームをサポートしています。ライトバック機能を持つFlexCacheオリジンボリュームはサポートされていません。

  "ONTAP SelectでのFlexCacheライトバックの詳細"

- FlexClone
- iSCSI
- NDMP
- NetApp Volume Encryption（制限対象外の国のみ）
- NFS
- NVMe over TCP
- ONTAPマルチテナンシー機能
- ONTAP S3
- S3 SnapMirror
- SnapLock Select

  SnapLock SelectはONTAP Select向けに設計されたONTAP SnapLockの実装であり、SnapLock Enterpriseが含まれています。SnapLock Complianceは含まれていません。

  "ONTAP SnapLock"について学ぶ

- SnapMirror

  ONTAP Selectは、非同期 SnapMirrorにおけるコンシステンシー グループをサポートしていません。

- SnapRestore
- SnapVault
- Storage VM ディザスタリカバリ（SVM DR）

  ONTAP SelectはSVM DRをソースと宛先の両方としてサポートし、最大16件の関係を設定できます。SVM DRのサポートは、ソースONTAPバージョンからバージョン+2までの使用に限定されます。たとえば、ONTAP Select 9.16.1ソースは、宛先ONTAPバージョン9.16.1、9.17.1、または9.18.1に接続できます。

別途ライセンスが必要な **ONTAP** 機能

デフォルトではライセンスされていないONTAP機能については、別途ライセンスを取得する必要があります。これには次のものが含まれます：

- FabricPool

  StorageGRID を使用する場合、FabricPool ライセンスは必要ありません。

- MetroCluster SDS（ONTAP Select プレミアムライセンスの提供）
- SnapMirrorクラウド

  "非技術的なサポートケースを開く"してSnapMirrorクラウドライセンスを取得する必要があります。

  "オブジェクト ストレージへのSnapMirrorクラウドのバックアップ"について学ぶ

関連情報

- "ONTAP SelectとONTAP 9の比較"
- "NetApp ONTAP マスター ライセンス キーについて学ぶ"

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。